

◇-----◇
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011.6.21

下水道機構の『新技術情報』 第1号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

下水道新技術推進機構では、当機構の動きや下水道に関わる最新の情報をお伝えるために、この度『新技術情報』の配信を開始いたしました。

本メールを通して、下水道事業の現場で活躍されている皆様や、下水道に少しでも興味を持たれている皆様など、多くの皆様に下水道に関わる最新の情報や当機構の活動等をお伝えしていきたいと思っています。また、皆様からも情報をいただき、双方向の情報交換ができるようにしていきたいと考えていますので、ご理解とご支援のほど、よろしく願いいたします。

それでは、第1号の新技術情報をお届けします。

～トピックス～

☆インフォメーション

- ・地震・津波・液状化対策、公衆衛生の確保、電力不足など様々な課題に対する調査研究を実施しています
- ・東京電機大学の安田教授を講師に「広域的な液状化への対応」について技術サロンを開催しました
- ・次回予告！群馬大学大学院の片田教授を講師に「東日本大震災に学ぶこれからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」について技術サロンを開催します！
- ・下水道施設における電力不足への対応について意見交換等を実施しています

☆機構の動き

- ・今週は、建設技術審査証明委員会（22年度継続1件の答申、23年度新規14件の諮問等）が開催されます

☆Tea Break

- ・「東日本大震災に思う」石川理事長の投稿です

☆みなさまのコラム

- ・皆様からの情報を募集しています！

☆国からの情報

- ・6月20日付けの下水道ホットインフォメーションです

インフォメーション (最新の話題です)

○下水道機構では東日本大震災に関して地震・津波・液状化対策、公衆衛生の確保、電力不足への対応など様々な課題に対する調査研究を実施しています

下水道機構では、地震発生後から東北地方等に職員を派遣し、地震・津波による下水道被害調査や、首都圏を含む広域に被害が見られる液状化の調査等を実施しています。また、これらの調査結果と、今までの調査研究の成果を活用して、地震・津波・液状化対策、公衆衛生の確保、電力不足への対応など様々な課題に対する調査研究を実施しています。調査結果の詳細については機構ホームページに掲載していますので是非ご覧ください。<http://www.jiwet.jp/saigai-higai.htm>

特に今回の震災では、多くの下水処理場で下水処理機能が停止し、未処理下水や簡易処理水の放流により、公共用水域で公衆衛生の問題発生が懸念されました。また、下水が使用できない状態が続くことによって、避難場等での公衆衛生被害等も懸念されておりました。そこで、下水道機構では、自治体の協力を得て避難所におけるトイレの公衆衛生を調査するとともに、下水道が使用できない状況下での公衆衛生の考え方について、医療関係者から意見をうかがうことを目的に、公衆衛生の確保の観点からの現地調査も実施しました。

この調査内容の詳細も機構ホームページに掲載しましたので、ご覧ください。

<http://www.jiwet.jp/pdf/shinsai-higai03.pdf>

今後、これらの調査研究成果を基に対策の提案等を行っていく予定です。また、これらの成果については随時、情報提供させていただきます。

○東京電機大学の安田教授をお招きし、「広域的な液状化への対応」について技術サロンを開催しました

さる6月9日(木)、機構会議室において技術サロンを開催いたしました。

今回のサロンには、地盤工学の分野の第一人者であられる東京電機大学理工学部の安田教授をお迎えし、東日本大地震に伴う広域的な液状化についてご講演そしてディスカッションを行いました。いつもより遅い時間にもかかわらず、会場には大勢の皆様が詰めかけての開催となりました。ご講演は、東京湾岸等における詳細な現地調査結果に基づき行われ、大変分かりやすく、機構の所在地から地理的に近いこともあって、身近に感じられる内容でした。正味1時間程の短い時間でしたが、液状化に対する認識や今後のあり方について考えさせられる良い機会となりました。

○次回予告！群馬大学大学院の片田教授をお招きし、「東日本大震災に学ぶこれからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」について技術サロンを開催します！

次回も震災関連をテーマに、7月14日（木）17:30～19:00、機構会議室（東京都新宿区水道町）において、「東日本大震災に学ぶこれからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」と題して、群馬大学大学院の片田教授を講師をお招きし、ご講演いただきます。

現在、機構ホームページにて参加申し込みを受け付けておりますので、以下のアドレスに掲載してありますご案内をご覧ください。

<http://www.jiwet.jp/school/school-07-295.htm>

○下水道施設における電力不足への対応について（省エネ、バイオマス発電等）

東日本大震災の影響による電力不足が続く中、下水道施設においても長期的な省エネ・創エネ対策が必要とされています。

当機構では、従来より省エネに関して下水処理における新資器材の開発や共同研究等を実施してきています。また、下水処理施設を核とした創エネルギー推進に向けて、バイオマス発電等の下水汚泥エネルギー化技術について導入検討の考え方や検討事例を整理してまいりました。さらに、バイオガス発生量の増大につながる各種バイオマス（生ゴミ等）受け入れマニュアル」を作成いたしました。

これらのうちバイオマス発電については、今回内容をとりまとめ、「バイオマス発電による電力不足対応のパフレット」として作成し、説明および意見交換を行っております。現在、栃木県や京都府等の自治体ご担当者様と意見交換をさせていただきました。ご興味のある方は、こちらまで↓

資源循環研究部TEL：03-5228-6541

<http://www.jiwet.jp/reference.htm>

機構の動き (機構の行事予定です)

◎6月24日(金)10:00～17:00

建設技術審査証明委員会 (機構特別会議室) 主な議題「22年度継続1件の答申、23年度新規14件の諮問」等

○7月1日(金)11:00～12:00

理事会 (機構特別会議室) 主な議題「第11期役員(会長、理事長、専務理事)の互選」等

○7月14日(木)17:00～19:30

技術サロン (機構8F会議室) 講師;群馬大学大学院教授 片田敏孝、テーマ「東日本大震災に学ぶこれからの防災のあり方～今求められる命を守るための防災への転換～」

○7月26日(火)～7月29日(金)

下水道展への出展(パブリックブース)及び下水道研究発表会での発表 (14編)
『下水道展 '11 東京』のホームページはこちら
→www.gesuidouten.jp/

Tea Break (機構職員の感じるまま)

○東日本大震災に想う (理事長 石川忠男)

今回の震災にあたって一番感じたことは組織化され、練度の高い自衛隊、警察、消防などのいわば正規軍、実戦部隊の活躍です。しっかりした組織と指揮命令系統により統制の取れた救助活動、緊急復旧などが実施されたと思います。

あまりマスコミでは取り上げられていませんが下水道の分野でも国、地方公共団体、下水道協会、下水道関係団体、企業などが震災後の被害調査、緊急復旧支援、災害復旧支援に駆けつけました。私どもの下水道機構でも3次にわたる調査隊を派遣したところでした。阪神淡路大震災の経験から震災時の支援協力の仕組みを作ったのは活かされました。震災当初はボランティアもなかなか現地に入りにくい状況でした。やはり正規軍とはいえませんが準正規軍ともいえる下水道関係の組織的な支援活動は地元市町村にとって有効であったと思います。今後ともこの枠組みに磨きをか

けて維持することが大事だと痛感しました。これからの復興でもまだまだ関係者の協力が必要です。

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

○掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

下水道ホットインフォメーション（国からの最新情報です）

★下水道ホットインフォメーション

2011.6.20

（送信元：

国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸）

=====
=====

おまっとさんでした・・・札幌市と下水道施設業協会の皆さま、情報ありがとうございます。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

●札幌市下水道ビジョン 2020 を策定!!【札幌市】

●第 7 回公開講座「放射性廃棄物の観点からの下水汚泥処理処分の課題」を開催！

【日本下水道施設業協会】

=====
=====

●札幌市下水道ビジョン 2020 を策定!!【札幌市】

札幌市では、平成 23 年（2011 年）から平成 32 年（2020 年）までの 10 年間で札幌市の

下水道事業が取り組むべき施策の方向性を示す「札幌市下水道ビジョン 2020」を策定しました。本ビジョンは、昭和 40 年代から 50 年代にかけて集中的に整備した下水道施設の大規模な改築や地震対策、地球温暖化問題への対応など、限られた財源の中で多くの課題に対応し、次世代へ良好な生活環境や社会基盤施設を引き継ぐための方向性をまとめたものです。

詳細はこちら⇒<http://www.city.sapporo.jp/gesui/keieiplan/vision.html>

●第 7 回公開講座「放射性廃棄物の観点からの下水汚泥処理処分の課題」を開催！

【日本下水道施設業協会】

大学や民間の研究機関から発生する低レベル放射性廃棄物の処理処分について研究を行っている原子力研究バックエンド推進センターから専門家をお招きし、放射性廃棄物に関する法体系から説き起こして、処理処分に関する具体的な課題についてお話を伺います。

日時 7 月 1 5 日（金曜日） 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0

場所 中央区立 日本橋社会教育会館 ホール

東京都中央区日本橋人形町 1 丁目 1 番 1 7 号

（日本橋小学校等複合施設 8 階）

03-3669-2102

テーマ 放射性廃棄物の観点からの下水汚泥処理処分の課題

講師 原子力研究バックエンド推進センター（RANDEC）

専務理事、物流システム事業準備室長 森 久起 様

参加者 関心のある方はどなたでもご参加頂けます。

費用 無料

申し込み方法

1. 施設協ホームページ (<http://www.siset.or.jp/>) から申込用紙をダウンロード

2. 所定の事項を記入の上、FAXにて7月5日までに

※申込み多数の場合は（定員 180 名）、締め切り前でもお断りすることがあります。

お問い合わせ （社）日本下水道施設業協会 河野 03-3552-0991

がんばろう！日本

◆◆◆◆ 東日本大震災関連 ◆◆◆◆

◎今週のトピック 1 ～段階的処理レベル向上が災害復旧事業の対象に～

国土交通省では、公共土木施設（下水道）災害復旧事業における仮処理施設工事は、本復旧までに時間を要する場合においては、段階的に処理レベルを向上させるための工事を含むものである旨を6月17日付で事務連絡により被災自治体に周知しました。詳細は下水道事業課まで。

◎今週のトピック 2 ～放射性物質が検出された上下水処理等副次産物の当面の取扱いに関する考え方について～

国土交通省では、6月16日に原子力災害対策本部から通知があったことを踏まえ、関係都県知事と関係都県内の政令指定都市市長に対し通知を発出しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000131.html

○下水道施設被害状況（6月20日時点）

下水道処理場	震災当初	現在
稼働停止	48	18 ※1
施設損傷	63	1
正常に稼働	—	92 ※2
不明	9	9 ※3
計	120	120

※1 応急対応中13、準備中2、汚水発生なし3

※2 ほぼ通常の処理を含む

※3 福島第一原発周辺

ポンプ場	震災当初	現在
稼働停止	79	26 ※1
施設損傷	32	12
正常に稼働	—	73 ※2
不明	1	1 ※3
計	112	112

- ※1 汚水 3 (すべて応急対応中)
雨水 24 (応急対応中 10、準備中 8、排水対象なし 6)
- ※2 ほぼ通常の排水を含む
- ※3 福島第一原発周辺

下水管きょ

【1次調査 (目視調査)】

11 都県の 137 市町村等 (うち 1 次調査済 136)

被害延長/総延長 956km/66,086km

【2次調査 (テレビカメラによる調査)】

10 都県の 123 市町村等 (うち 2 次調査済 110)

被害延長/総延長 514km/61,940km

※被害状況については国土交通省HPにも掲載

http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_110311.html

http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_fr_000007.html

○支援人員派遣状況

現在までに 1 都 1 道 2 府 23 県 109 市町、日本下水道協会、日本下水道事業団、下水道新技術推進機構より延べ 6,551 名を派遣

=====

=====

【参考情報】

◆浄水場汚泥から放射性物質 宮城 <6/11 MSN産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/110611/myg11061102380000-n1.htm>

◆東日本大震災：炭化製品からセシウム検出ー東御の下水汚泥 /長野 <6/11 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/nagano/news/20110611ddlk20040034000c.html>

◆震災ファイル：県管理の下水処理場から最高360ベクレルの放射性物質 / 群馬
<6/11 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/gunma/news/20110611ddlk10040260000c.html>

◆平成23年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）の「実証機関」を選定、「実証対象技術」公募開始 <6/13 EICネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=25249&oversea=0>

◆川遊び教える山崎さん 「外来魚や温暖化多摩川に関心を」 <6/14 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/20110614/CK2011061402000021.html>

◆下水道処理9施設でセシウム検出 県2回目検査 <6/14 茨城新聞>

http://www.ibaraki-np.co.jp/news/news.php?f_jun=13079727690349

◆継続調査でも放射性物質検出 県の下水汚泥など <6/14 下野新聞>

<http://www.shimotsuke.co.jp/news/tochigi/region/news/20110614/540515>

◆バイオガス：「スイーツ」で生産 菓子工場の残り食材活用、神戸市が実証事業 / 兵庫 <6/14 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/life/ecology/area/news/20110614ddlk28010362000c.html>

◆浄水場など4カ所から放射性物質 長岡市 <6/14 新潟日報>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/pref/24075.html>

◆下水処理場放射性物質検出で17日に検討会設置 <6/15サーチナニュース>

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2011&d=0615&f=national_0615_205.shtml

◆汚泥処理施設を公開「飛散する状況にはない」東京都 <6/15 MSN産経ニュース>

<http://sankei.jp.msn.com/region/news/110615/ky11061520280015-n1.htm>

発行元：（財）下水道新技術推進機構 企画部

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから

jiwet@jiwet.or.jp

○登録についてのお問い合わせはこちらから

jiwet@jiwet.or.jp
